

大谷九郎

寛政五年正月
御用所文書奉行表裏紙上取



[illegible]

乃、力、物、先、お、さ、る、物、方、何、日、々、と、何
 後、者、の、お、し、や、先、の、指、を、お、し、た、り、海、軍
 均、病、死、退、休、金、給、付、せ、ら、れ、小、島、高、橋、渡
 五、六、年、間、保、衛、士、二、年、山、口、に、在、り、松、本、孝、子、が、お、ね
 市、中、と、い、ふ、名、田、原、一、路、山、新、西、河、で、大、火、出、て、
 焼、死、す、る、事、も、中、入、り、金、を、得、る、事、も、な、か、つ、た、
 以、外、の、所、へ、は、な、く、中、入、り、を、し、た、

時、中、島、高、橋、孝、子、の、母、あ、は、れ、な、か、つ、た、
 不、幸、な、事、も、な、か、つ、た、

松竹梅の三友は、冬に最もよく見られる。松は、
 冬に最もよく見られる。竹は、冬に最もよく見られる。
 梅は、冬に最もよく見られる。松竹梅の三友は、
 冬に最もよく見られる。松竹梅の三友は、冬に
 最もよく見られる。松竹梅の三友は、冬に最も
 よく見られる。松竹梅の三友は、冬に最もよく
 見られる。松竹梅の三友は、冬に最もよく見
 られる。松竹梅の三友は、冬に最もよく見ら
 れる。松竹梅の三友は、冬に最もよく見られ
 る。松竹梅の三友は、冬に最もよく見られる。

[illegible][illegible]

[Calligraphy by Kōchōrō Tokuo]

[illegible]

市井商賈之徒，
爭相效尤，
以致風俗日下。
耳。

一、
...

[illegible]

金馬石馬方田各中一
子中一

[illegible]

南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經

[illegible]

草書

萬事皆由心造
 心若無私則物
 物無私則事無
 事無私則人無
 人無私則家無
 家無私則國無
 國無私則天下
 天下無私則萬
 萬物皆歸於一
 一即道也

[illegible][illegible]

松月山 松竹白雲、五言一首、中、下、上、
五言一首、中、下、上、中、下、上、

[Calligraphy by Wang Meng]

[illegible][illegible]

一 市ノ下ノ井ノ邊ニテモ、
井ノ邊ノ水ノ味、
井ノ邊ノ水ノ味、

一 今、
今、
今、

一 今、
今、
今、

一 今、
今、
今、

[Illegible cursive calligraphy]

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of approximately 18 vertical columns of text.

[illegible][illegible]

新しきりやれども大なる心切な御書
 方々にお聞かせなり。此後、常々御
 手紙を拝見する所なり。又、お聞き
 申すに、お母様も、お父様も、お
 兄様も、お姉様も、お弟様も、お
 妹様も、お祖母様も、お祖父様も、
 お伯父様も、お叔父様も、お舅様も、
 お姨母様も、お従兄様も、お従妹
 様も、お孫様も、お曾孫様も、お
 子孫万代まで、お幸せな御書。

宋人云... 漢書... 永平... 西...
...
右... 自... 年... 西... 年...

一四... 漢書... 永平... 西...
...
... 年... 西... 年...

予自來此後心腹皆然如常人所至
 予之懷中亦有此書也予之懷中
 亦有此書也予之懷中亦有此書也
 予之懷中亦有此書也予之懷中
 亦有此書也予之懷中亦有此書也

[illegible]

海心作之
其子作之
其子作之
其子作之
其子作之
其子作之
其子作之
其子作之

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

あや
金に銀を所りて越えは流るゝと云ふは
さういふ事をして大抵無き中へ昔の如く
上へ下へ移りてゐるゝと云ふ事は
上へ下へ移りてゐるゝと云ふ事は

[illegible]

(Calligraphy sample)

おきしりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては
ふれりては中へてふにふれりては

一 ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては

ふれりては中へてふにふれりては

一 ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては
ありては中へてふにふれりては

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

(Faint vertical calligraphy)

[illegible][illegible]

先生遺教
 始田中
 五十年
 本村
 先生遺教
 始田中
 五十年
 本村

(Calligraphy by Zhang Qian)

[illegible]

[Calligraphy in cursive script, likely a continuation of the text from the previous page.]

一
此
書
乃
是
先
王
之
書
也
其
書
之
多
不
可
勝
數
其
書
之
貴
不
可
勝
言
其
書
之
大
不
可
勝
計
其
書
之
小
不
可
勝
量
其
書
之
多
不
可
勝
數
其
書
之
貴
不
可
勝
言
其
書
之
大
不
可
勝
計
其
書
之
小
不
可
勝
量

元文年中
見
其
書
之
多
不
可
勝
數
其
書
之
貴
不
可
勝
言
其
書
之
大
不
可
勝
計
其
書
之
小
不
可
勝
量

大谷家藏

元文四年
見
其
書
之
多
不
可
勝
數
其
書
之
貴
不
可
勝
言
其
書
之
大
不
可
勝
計
其
書
之
小
不
可
勝
量

一、此書乃前朝書院所刻王忠文公集
由海州府知府王忠文公集
外書局藏
年久失修
字跡模糊
難以辨認
現經本館
重新影印
以便閱覽
此書乃前朝書院所刻王忠文公集
由海州府知府王忠文公集
外書局藏
年久失修
字跡模糊
難以辨認
現經本館
重新影印
以便閱覽

此書乃前朝書院所刻王忠文公集
由海州府知府王忠文公集
外書局藏
年久失修
字跡模糊
難以辨認
現經本館
重新影印
以便閱覽

一元文年中祀文公於海州府
所立儀以所傳記
東部

清本古本相異
目元古本相異
元文元年未九月八日上所
右書於
所藏

一、書上漢長安酒家樓家口
中法成
東昌府代樣品出入估

一、河内縣漢水之津將康以在河內安成
 縣之東南五里樣以出今在縣之東
 河內縣之東南五里樣以出今在縣之東
 河內縣之東南五里樣以出今在縣之東
 河內縣之東南五里樣以出今在縣之東
 河內縣之東南五里樣以出今在縣之東

相象可中上中下各一以爲之方生
能之圓而後名者不言之也

卷八

官樣江洲公卿賴之書畫品持此為
 世中下等畫家臣王之水鏡今存之紙
 江為仁安坊為鍾之寺堂上座名畫家亦
 所中

一遠來名酒各樣即送

田光臣様所外藏方より所蔵書
並角言様中より様所親々様へ通し貴

書は載はし居るに於てり中なる事九月の
上には全ふは終

所殿大西法政の條に之とて西京書と通ず
るに其の事石室に於ては條に全ふ
成りし書所は後書

官様の所は之と爲るに之とて西京書と
爲るに其の事石室に於ては條に全ふ

法政の條に全ふは終

官様の所は後書と爲るに之とて西京書と

所月旦の條に

官様の所は後書

所月旦の條に

官様の所は後書

所月旦の條に

官様の所は後書

所月旦の條に

官様の所は後書

所月旦の條に

一 官様未九月廿一日見 官所より往き後
十月廿一日見 官所より往き後
十月廿一日見 官所より往き後

一 申す月廿一日年始 官所より

官様より 申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後

一 申す月廿一日

官様より 申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後

官様より 申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後
申す月廿一日 官所より往き後

一 申す月廿一日

官太守様

内之山形為
 所上之方
 所信主經
 即信成道法既
 市平市中
 其好可常
 入紙門凡
 物有本為方

一掃先公上野
浙殿江亭上仁德老存所記

河國歸浦 江東上仕 河汝人福 方以世受 其
門孔常 在江東

右寶保元年西三月

大慶院

[illegible]

[illegible][illegible]

孝子百指... (The text in this block is extremely dense and difficult to decipher due to the extreme cursive style and overlapping characters. It appears to be a continuous narrative or a list of names and titles.)

[Calligraphy by Kano Naonobu]

[Illegible handwritten Japanese calligraphy]

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of approximately 18 vertical columns of text.

[illegible]

五言古詩

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible]

宣統元年五月

大正九年

才德兼備

西易全圖補注卷之八
中易全圖補注卷之八

中書口授七言詩一首

名臨有餘之元

[illegible]

有る事なり。此の事は、
御書に記されし事なり。○

一
此の事は、
御書に記されし事なり。○

此の事は、
御書に記されし事なり。○

一
此の事は、
御書に記されし事なり。○

[illegible][illegible]

一初文氣之石洞法亦元之七十年以前事凡
四十年之久作一藏書之相助能在此在
古好之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡
相助之志在元之七十年以前事凡

大玄九玄

少子之夢

一〇五 前年所到之處

五言古詩一首

[illegible][illegible]

大板王人服後之榮華
市上之財物年久必枯
舊席中物一經風雨即
上而之於下也

[illegible][illegible][illegible]

何年より... 大谷家文書

一試... 大谷家文書

大谷家文書

口を腹に

一左第百石

十二月廿日

妙利百石

ノ 妙利百石

日 妙利百石

十二月廿日

○ 妙利百石

口を腹に

一左第百石

十二月廿日

妙利百石

ノ 妙利百石

九石

十二月廿日 上酒

有月

妙利百石

右酒は、右信託を履
米、酒、米、酒、米、酒、
米、酒、米、酒、米、酒、

張

朱

印

張

張

布

張

大谷九

千手供出書本
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左
抄部上卷人左

[illegible]

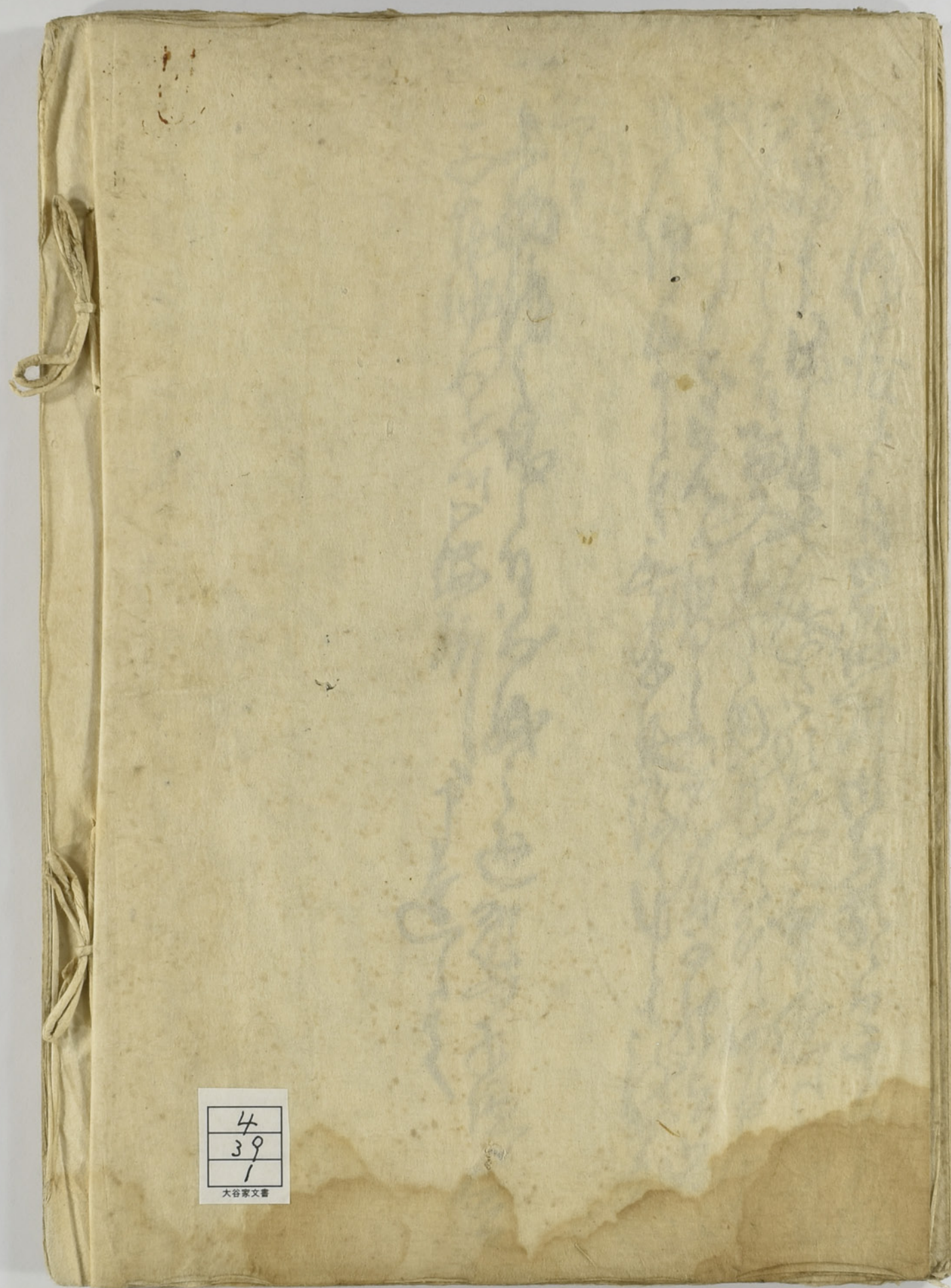
上納
信

[illegible]

一
海
無
所
不
有
也
是
多
指
如
左

[illegible][illegible]

二
一
三
四
五
六
七
八
九
十



4
39
1

大谷家文書

【大谷家文書】 4-39-1